韓国新聞 第1525号 (6)
1983年5月28日

「韓・日」陸つづき

＝トンネル研究会が設立＝

「青函」の4倍、130キロ

韓国と日本を海底トンネルで結ぼうという民間研究会の設立総会が二十四日夜、東京・紀尾井町のホテルニューオータニで開かれた。

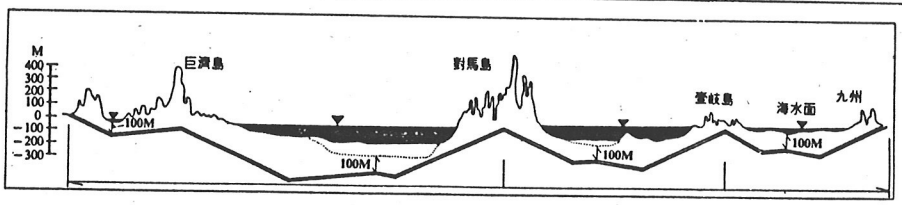
これは一昨年十一月、ソウルで開かれた第十回「科学の統一に関する国際会議」で提唱された世界各国を高速道路でつなぐ「国際ハイウエイ」構想の一環として推進されているもので、この日の設立総会には関係者約四百人が出席した。

総会では、経過報告、会則の検討などのあと役員選出が行われ、会長には北海道大学名誉教授であり、青函トンネルの技術顧問でもある佐々木保雄氏が選出された。映画「海峡」で高倉健が演じた、その人である。

また、名誉会長に松下正寿元立教大学総長が、副会長に金山政英元駐韓日本大使はじめ三人が、ほか、顧問に大学学長、国会議員ら多数が選ばれた。

青函トンネルの四倍。韓国・釜山と日本・唐津市を結ぶ・海底百三十キロ余りのトンネルには三兆円を超える工費と二十年の歳月が予想されているが技術的には可能であるとのこと。

日本側は佐賀県唐津市から加部島を経て壱岐・対馬に至り、韓国・巨済島、釜山のルートが考えられている。



韓国と日本をトンネルでつなげるには、このような断面図で計画している